

MOMO MAG

Love&Peach for your everyday life.

MOMOMAG

【モモマグ】



BEAUTY
SPICE
美×スパイス

COLUMN

- 旅からすべてがはじまった
- まちの自慢を、聞かせてください

vol.3

2025.6-7

機内からの持ち出しはご遠慮ください。 Please don't take it out.

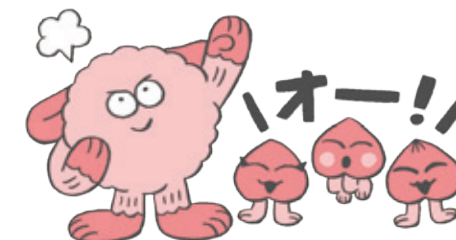
peach

MOMO MAG

CONTENTS

(P04-05)

ABOUT MOMOMAG



(P06-07)

SPECIAL COMICS

「ラブミとモモモ ～ピリッと美くなる旅へ～」

(P08-15)

美 × スパイス

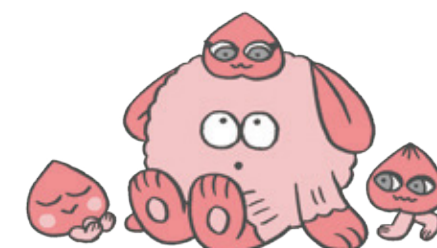
韓国旅のスパイスで
美しい未来をつくる!?



(P16-17)

COLUMN

- Peachの舞台裏
- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった



(P18-21)

MOMOMAG feature in English

(P24-25)

入国書類記入方法

(P26)

路線図



ABOUT MOMOMAG

「愛あるフライトを、すべての人に。」をビジョンに掲げるPeach。
昨年12月から機内誌が『MOMOMAG』として新しく生まれ変わりました。

この機内にはWi-Fiも、デジタルコンテンツもありません。だからこそ、このMOMOMAGを使って
旅をもっと楽しんでいただきたい！そんな思いを込めて、お客さま参加型の仕掛けをご用意しました。

題して「MOMOメモ」！

MOMOMAGを読みながら、自分だけのための「MOMOメモ」を書き残してみませんか？

Peachのフライトは、あなたが自分自身と向き合う時間。自分の頭の中に浮かんだことを書き出してみてください。

と言っても、機内誌に直接書き込まないでくださいね！
これから、このMOMOMAGの使い方をご説明します。

HOW TO MOMOMAG

「MOMOMAG」の使い方

スマートフォンの
メモ欄やお手持ちの
メモ帳・ノートを開いてね



感じたこと、思いついたことを
メモしても良いですね

STEP 02

今回の特集をよく読んで

STEP 01

メモを開いてください



今号は「美×スパイス」特集だよ

STEP 03

自分だけの「MOMOメモ」を
書き残してみよう

機内誌には書き込まないでね

旅のこと、感じたことを
思い返して、今の自分の
気持ちを確かめよう



STEP 04

飛行機を降りても
自分の気持ちを見つめてみよう

機内誌は持ち帰れないけど、
メモは見返せるからね



さっそく MOMOメモ

Q. 今ワクワクしてる？

あなたは今、旅に出るところ？旅から帰るところ？これから冒険が始まる人も、お馴染みの日常に戻る人も、飛行機を降りればまた新しい日々の始まり。今はどんな気持ち？自分の気持ちと向き合ってみよう。

まずはやってみよう！

Q. 今はどんな気持ち？

ワクワク or しんみり

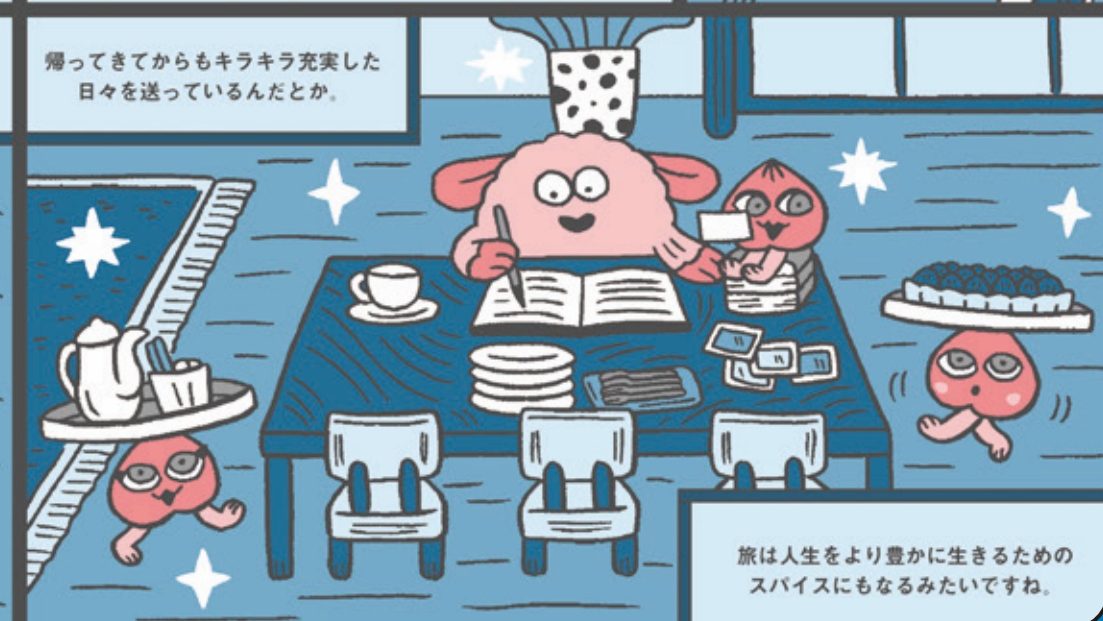
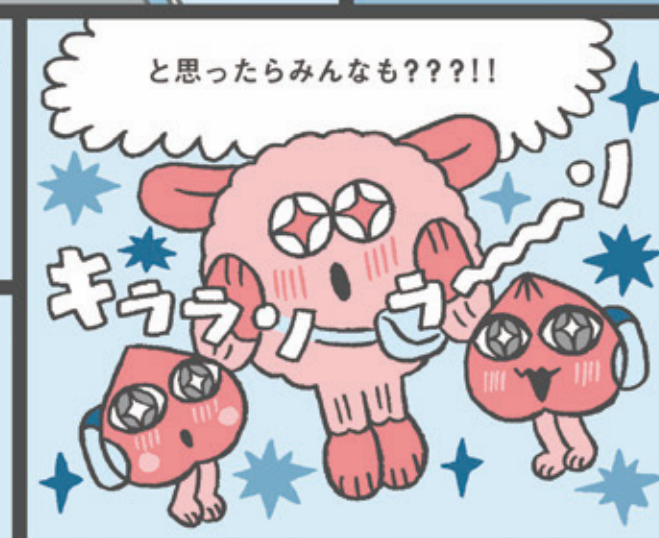
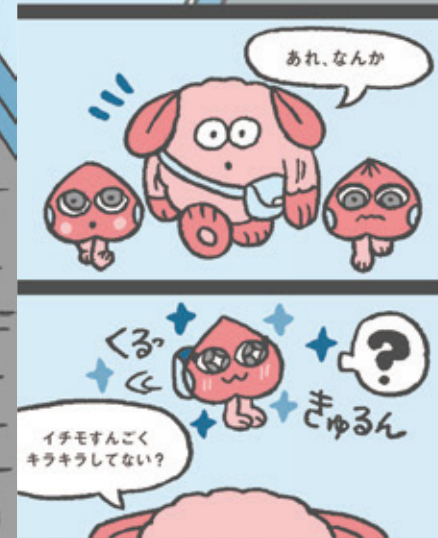
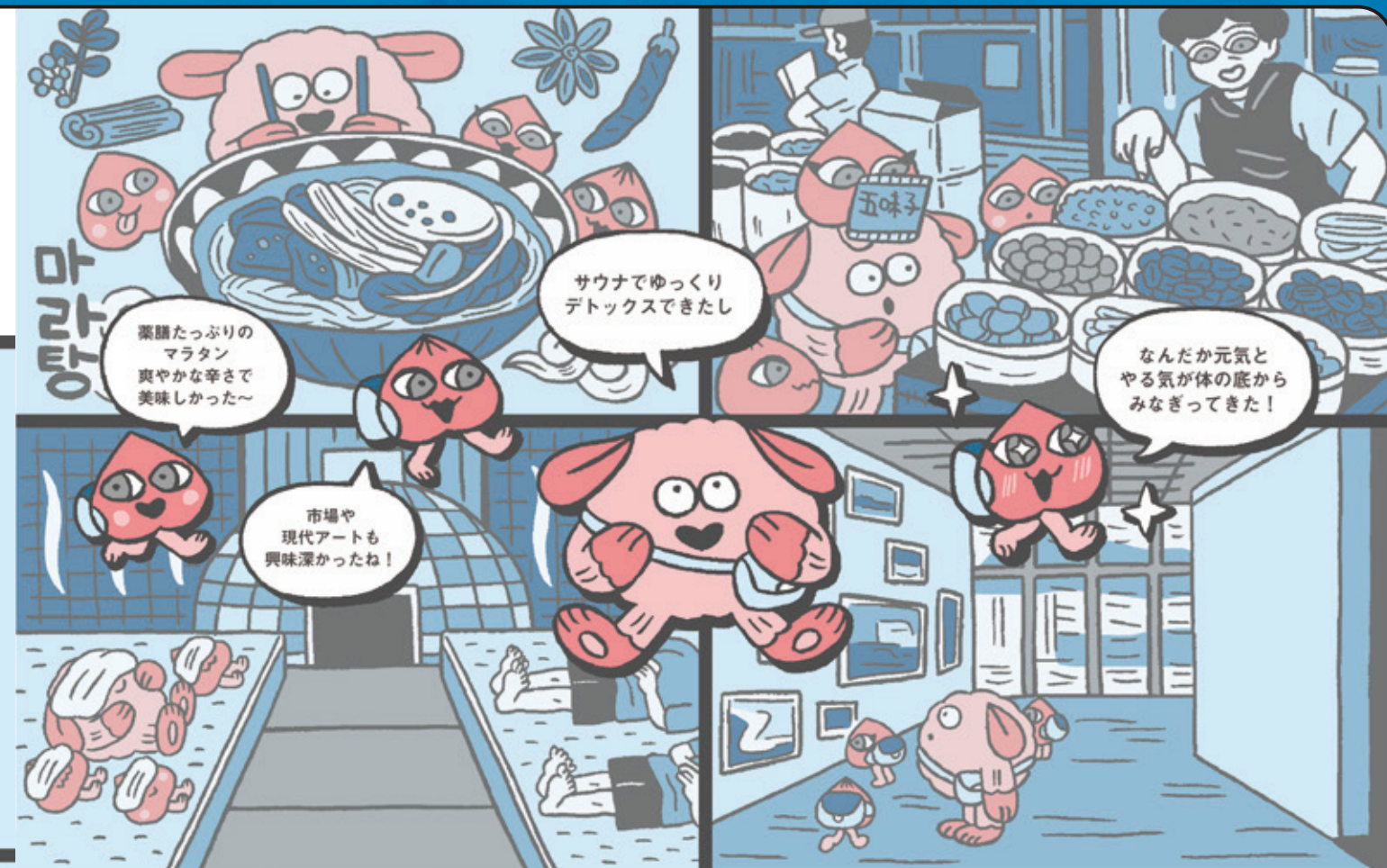
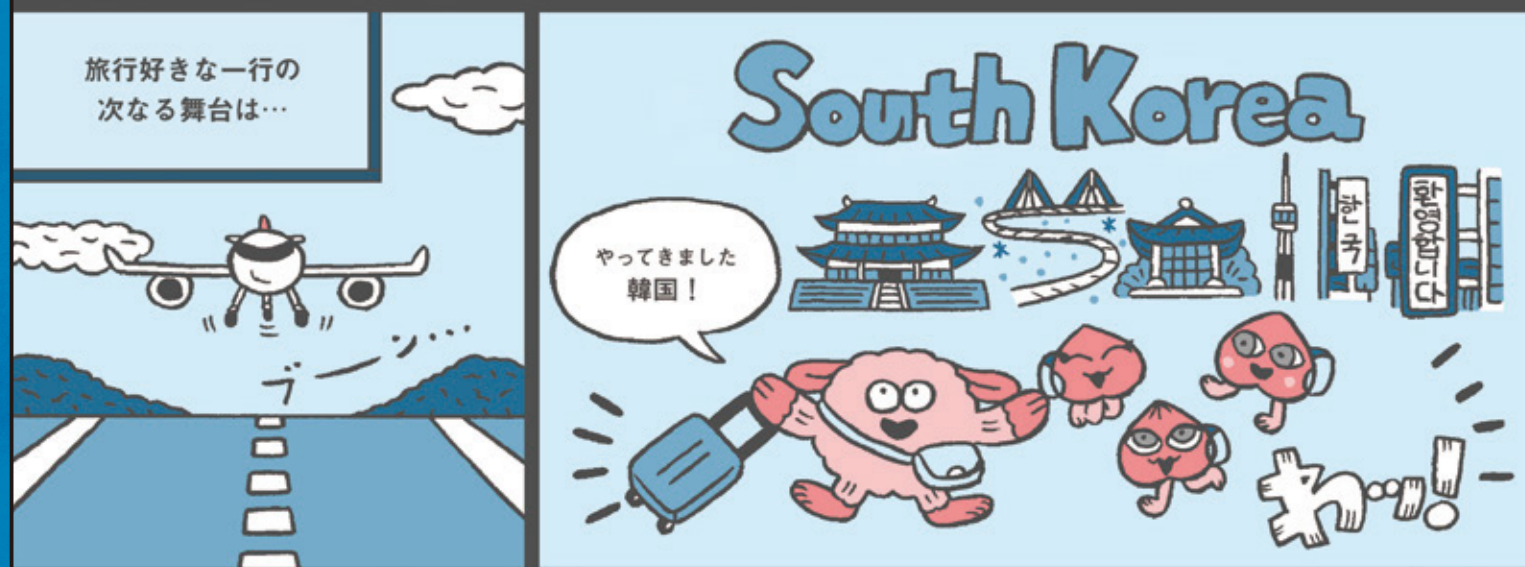
自分の気持ちと向き合って、
今どんな気持ちか考えてみよう。
そしてそれはどうしてなのか、
これからどうしていきたいのか、
自由にメモに書き込んでみて。

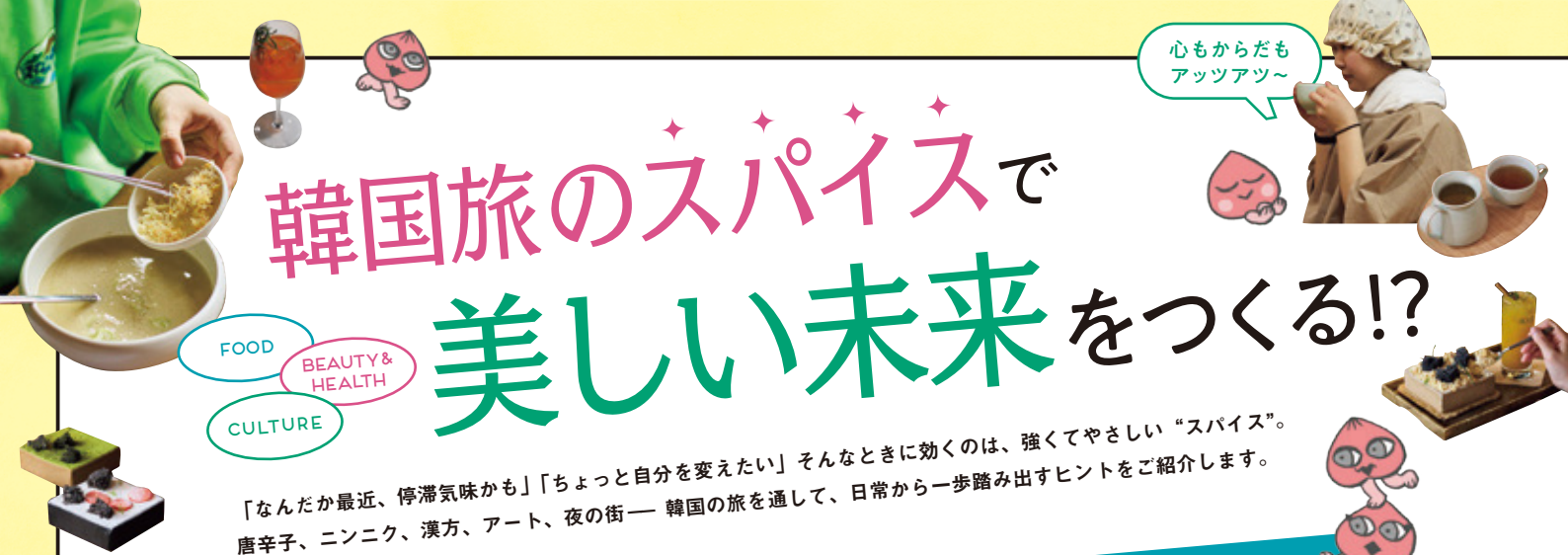


ラブミとモモモ

～ピリっと美しくなる旅へ～

まんが／オザキエミ





韓国旅のスパイスで 美しい未来をつくる!?

「なんだか最近、停滞気味かも」「ちょっと自分を変えたい」そんなときに効くのは、強くてやさしい“スパイス”。

唐辛子、ニンニク、漢方、アート、夜の街—— 韓国の旅を通して、日常から一歩踏み出すヒントをご紹介します。

Q. 最近、人生にスパイスを感じていますか？

01 旅は、 人生を整える “スパイス”!?

「旅は人生のスパイス」——よく聞く言葉ですが、これは単なる比喩ではありません。最新の研究では、ポジティブな旅行体験が、心身の健康を支える“秩序ある状態(=低エントロピー)”を維持するうえで効果的であることがわかりました。たとえば、旅行中に得られる運動や自然とのふれあい、ポジティブな感情、社会的交流といった体験は、免疫・自己治癒・ストレス耐性などからだを整える基本機能を活性化し、心とからだの健やかさを支えるとされています。旅は、単なる気分転換やストレス解消にとどまらず、身体的・精神的・社会的な健康を包括的に整える新たな視点「トラベルセラピー」として注目され始めているのです。[1]

英語のことわざ“Variety is the spice of life”(変化は人生のスパイス)は、まさにそんな旅の本質をとらえています。知らない景色、初めての味、新しい空気——そんな“ちょっと違う日常”が、人生のリズムを軽やかに変えてくれる。旅は未来をやさしく刺激してくれる調味料。モヤモヤとした日々も、旅というスパイスがピリッと晴らしてくれるはずです。

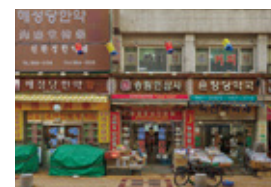
[1] Hu, F., Wen, J., Zheng, D., Ying, T., Hou, H., & Wang, W. (2024). The Principle of Entropy Increase: A Novel View of How Tourism Influences Human Health. *Journal of Travel Research*, 64(3), 752-761. <https://doi.org/10.1177/00472875241269892>



02 韓国は、五感に効く “生きたスパイス”の国

旅のスパイスを探しに、MOMOMAG編集部が向かったのは韓国。食、街、文化、そのすべてが“効く”国です。16世紀末、日本から朝鮮半島に伝来した唐辛子は、18世紀にはキムチの材料に取り入れられ、韓国の食文化を大きく変えていきました。しかし、韓国のスパイス文化はそれ以前から深く根づいています。ニンニクや生姜などの香味野菜は、韓国料理において「薬」としても扱われてきました。伝統医学である韓医学では、香辛料はからだを温め、気血の流れを整える“日常の処方箋”として重視されてきたのです。

そして今、韓国はアートや音楽、建築やナイトマーケットといったカルチャーも多彩に発展。食の奥にある歴史、街に宿る思想、暮らしの中に息づく創造性——すべてが“生きた文化”として更新され続けています。五感にずっと沁み入るスパイスのように、韓国の旅は私たちの内側に静かに働きかけてくれるような感覚があります。



スパイスが
たくさん!

内面の美しさが
外見にも現れるね

03 効いて、ときめいて、 美しくなる旅へ

韓国旅の魅力は、ただ“からだにいい”だけではありません。それが「美しさ」につながるの、内と外を同時に整える旅だから。たとえば、発酵食品のキムチやコチュジャンは、乳酸菌やビタミンB群が腸内環境を整え、代謝や肌の調子をサポートする“食べるスキンケア”として知られています。また、五味子茶や生姜茶といった伝統茶は、からだを温め、ストレスをやわらげる韓方の知恵が詰まっています。

さらに注目されているのが、韓国ならではの“ヘルスツーリズム”。韓国料理を味わい、韓医院での診察やトリートメントを体験する旅は、健康と美容を両立させたい人にとって理想的なスタイルとなっています。ソウルの最先端ギャラリーや夜遅くまで開いているブックカフェ、現代アーティストが活躍するアートシーン——文化と美容が同時進行で楽しめる土地、それが今の韓国かもしれません。

からだを整えて、感性を刺激する——そんな旅が、私たちをもっと自由に、もっと美しくしてくれるはずです。

MOMOメモ01

**Q. あなたにとっての
人生のスパイスは？**

**Q. あなたにとっての
美しい未来は？**

旅の刺激って
色々効くのね

ズズズ……



美
×
スパイス

＼お悩みをスパイスが解決!?／

美しい明日のための 相談室

FOOD

Q.

仕事で全力を発揮したい！
でも鏡の中の疲れた
自分にがっかりしたくない。

A. 高麗人参で、スタミナアップ！

参鶏湯は「薬食同源」の考えに基づく代表的な薬膳料理で、夏の盛りには体力をつける滋養食として、冬場にはからだを温めるスープとして親しまれています。日常的に家庭で頻繁につくる料理ではありませんが、専門店や食堂で手頃に提供されていて市民にとって身近なスタミナ食。鶏肉があらかじめほぐして盛られ、もち米や栗、高麗人参、ナツメなどの具材とスープが別皿で提供されるのがMUGUOKの特徴。塩、生姜、ネギ、韓国醤油などを好みて添えて。中でも主役は高麗人参。滋養強壮に良いと伝えられてきた素材の一つであり、韓医学では古くから“氣”を補う食薬として重宝されています。美と体力、どちらも手放したくないなら、まずはこの一杯から。



高麗人参が
たっぷり！

SHOP DATA

MUGUOK

무구국

参鶏湯 (₩18,000) は、キムチなどの小鉢とごはんがつく定食スタイル。●ソウル特別市鍾路区栗谷路1ギル7 1F 11:30~15:00、17:30~21:00 無休 IG@muguok_seoul 仁川空港から車で1時間、金浦空港から路線バスで30分程度



SHOP DATA

JINJIA

진지아

麻辣ホルモン鍋 (₩33,000) は、辛さも選べる。●ソウル特別市松坡区百済古墳路41ギル12~9 無休 平日11:30~16:00、17:00~22:00 (金のみ~22:30)、土11:30~22:30、日11:30~21:40 仁川空港から空港バスで1時間15分、金浦空港から地下鉄で1時間程度



花椒



唐辛子



醬

Q.

ジメジメして
スカッとしなない……

湿気にやられて
元気が出ない

A. 麻辣ホルモン鍋で
カラッと汗をかく。

韓国で人気急上昇中の麻辣湯。中国・四川発祥のこのスープ料理は、韓国では辛さの調整ができたり、韓国食材を組み合わせたりと、自由度高く進化中。食欲をそそる香りとしびれる辛さが、心もからだも一気に目覚めさせてくれます。ポイントは、ただ辛いだけじゃない“効く”スパイス。花椒には血行を促進し、冷えを改善する作用があるほか、胃腸の働きを活発にするとされています。唐辛子に含まれるカプサイシンは、代謝を上げて発汗を促し、からだが目覚めるような感覚に。醬の発酵成分が腸内環境を整えて、内側から巡りをサポートします。しびれる刺激の中に“薬膳の知恵”が息づいたスープ鍋。食後には気分すっきりです。



チヂミと
짜장면
うま辛い！



Q.

邪気を払って
スッキリしたい！



日々頑張っていると
色々溜まるよね

A. にんにくたっぷりカルビで、
邪気を吹き飛ばす。

なんだか最近、空気が重い。気分も体調もバツとしない……そんな“邪気”を一掃したいときには、日本でも身近な食材・にんにくが味方です。にんにくは、古くから“魔除け”の象徴としても使われてきたスパイス。強い香り成分「アリシン」は、古くからからだを温める食材として親しまれてきました。血行を促し、疲れたからだをサポートするとも言われています。まさに“邪気払い”にぴったりな薬味。たっぷりのにんにくと一緒に焼くカルビは、香りも味も、そして効き目も強力。ひと口かじれば、甘いタレとにんにくのパンチが、頑張りすぎた心からだに元気をくれます。

SHOP DATA

ノマヌル安東カルビ

너마늘 안동갈비

刻みににんにくをこれでもかとたっぷりトッピングした韓半安東カルビ (にんにくヤンニョム) (₩29,000) が人気。●ソウル特別市江南区宣陵路94ギル15 11:00~14:00、16:30~22:30 日休 仁川空港から地下鉄で1時間40分、金浦空港から地下鉄で1時間程度



にんにくとお肉をまぜて

▽



お肉はじっくり焼いて



ひとくちサイズにカット



薬味とたっぷりのにんにくと
一緒にいただきます！

Q.

最近、カタにハマって
つまらないかも……！



A. 固定観念を覆す、最新カフェへ。

カフェ文化がとびきり進化している国、韓国。コンセプトから空間演出、メニューに至るまで工夫されていて、行くたびに「こう来たか！」と驚かされる。だからこそ、“最近カタにハマってつまらない”という悩みには、ちょっと変わったカフェで思考をほぐるのがおすすめ。今回向かったのは、ソウルの清水堂。ここは韓国の伝統家屋である韓屋の建物とともに、300坪の庭園が楽しめるカフェで、なんとテーブルの上を小川が流れ、店内には池まで配されている。まるで“建物の中に風景がある”ような不思議な空間。水音に耳を澄ませながらお茶を飲むうちに、気持ちがゆるむ。カフェはただ“甘いものと休憩”の場所じゃない。固定観念を壊し、新しいアイデアや感性が芽吹く場所にもなり得る。ひと味違う体験を通して、思考に風通しを。そんなスパイスが柔軟な自分に効くはずですよ。



SHOP DATA

清水堂ベーカリー

청수당 베이커리

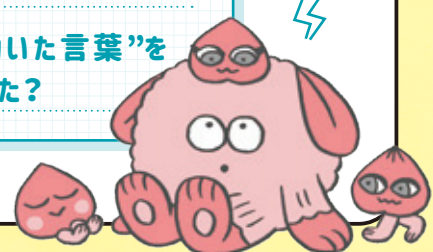
日本庭園をイメージした店内で食べる庭園を模したケーキ (₩15,000) は楽しくて味もおいしい。●ソウル特別市鍾路区敦化門路11ナギル31-9 10:30~21:00 無休 IG@cheongsudang 仁川空港から空港バスで1時間10分、金浦空港から地下鉄で1時間程度

MOMOメモ 02

Q. 何かを“ぐっと我慢”していない？
心に溜めこんでいることは？

旅先だからこそ
心を大解放！

Q. 最近、誰かに“効いた言葉”を
かけた？ かけられた？



A. よもぎ蒸しで、からだの中からすっきり！

湿度が高まる季節。心とからだがまとわりつく古い自分を脱ぎ捨てて「ひと皮剥けたい」。そんな気持ちが芽生えたら、からだの中からすっきり整える準備を。韓国の本格よもぎ蒸しは、そんな“脱皮の予感”に効くお手当てです。椅子の下で炭に火を入れ、乾燥よもぎをくべて、煙で下半身からじんわり温める伝統療法。韓方のよもぎは血行を促し、冷えやむくみ、女性特有の不調にも良いとされ、古くから体調管理や美容ケアとして親しまれてきました。スチームサウナとは違い、じんわり深部から温まっていくような感覚。終わったあとはびっくりするほどからだが軽い。そしてなにより、自分と静かに向き合える時間が心地いい。息を吐くたびに、いらないものが抜けていくような、心身の“めぐり”を取り戻す、火と香りのスパイスです。

SHOP DATA

イファラスパ

7年以上熟成された薬効の高い江華産のよもぎを使ったよもぎ蒸しを体験できる。所要時間1時間程度、1回W100,000 ●ソウル特別市江南区烏山大路58ギル 14 4F 10:00～19:00 (土日～18:00) 無休 IG@ehwalaspa 仁川空港から車で1時間、金浦空港から車で40分程度

BEAUTY & HEALTH



本場はやっぱりひと味違う～



温めたヨモギを入れるよ

Q. 新しい私へ、ひと皮剥けたい！



A. 韓流スパイスメイクで刺激的な私と出会う。

ちょっと自分を変えたい、印象を更新したい。そんなとき、韓国では「メイクアップサロン」でプロの手を借りるのが定番。俳優やアイドルも通う本格派のサロンに、“韓流メイク”の今を聞きにいくと「ほくろ」というメイクのスパイスを教えてくださいました。今、韓国では“描くほくろ”＝「ほくろメイク」が流行中なのだそう。チークやリップなどをピーチカラーでふんわりまとめたあと、極細のブラウンアイライナーで、好きな場所にほくろをひと粒。おすすめは、目の下の「なみだぼくろ」、頬の中心、鼻の横。位置によってかわいらしさや色気も演出できて、気分も変わります。ナチュラルなのに、新しい私を発見できる新テクニックです。



SHOP DATA

ウソン

メイクアップサービスはフルメイク1時間程度で、W250,000 ●ソウル特別市江南区押路亭路79ギル 27 (予約などはIG@ssssbin_ からでも可能。) 10:00～18:00 無休 IG@woosunofficial 仁川空港から空港バスで1時間10分、金浦空港から車で40分程度

Q.

足元がずっと寒い。



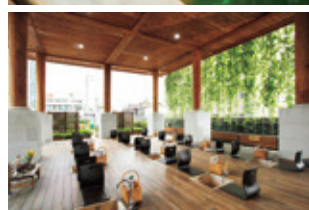
A. 薬湯の足浴で、足元から全身ぽかぽかに。

夏でも冬でも、なぜか足元だけずっと冷たい。からだはそこそこ元気なはずなのに、足の冷えが気になって気分まで重くなる——そんなときは、韓国の「薬湯足浴」を。韓方薬材をじっくり煮出したお湯に足を浸すこのケアは、古くから“からだの下から温める養生法”として親しまれてきました。ソウル韓方振興センターの伝統的な韓屋の中庭で行われる足浴体験では、季節に合わせて選ばれた生薬(よもぎ、当帰、川芎など)を使った薬湯に、20分ほど足を浸します。じんわりと血の巡りが良くなるのを感じながら、スマホを置いて、風の音と自分の呼吸に意識を向けてみて。ぽかぽかと温まり、心地よさが広がります。

SHOP DATA

ソウル韓方振興センター

3月から11月までの期間限定で、足浴を楽しむことができる。足浴体験W6,000 最大2名まで同時に利用可。●ソウル特別市東大門区薬令中央路26 1月1日、旧正月、秋夕休 IG@kmedicenter_official 仁川空港から空港バスで1時間30分、金浦空港から地下鉄で1時間10分程度



プロも観光客も見にくる市場だよ

Q.

暮らしにスパイスを取り入れたい。

A. ソウル薬令市場に行ってみよう！

旅のスパイスを、暮らしの中にも取り入れたい。そんなときに頼りになるのが、韓国のソウル薬令市場のスーパーで見つけた持ち帰れるセルフケアアイテムです。おすすめは、韓方素材をセットにした参鶏湯用の煮出しパック。高麗人参やナツメ、もち米、クコの実、にんにくなどが一つになっていて、おうちで鶏肉と煮るだけで簡単に薬膳スープの完成です。冷えや疲れ、くすみ感のある日にも、内側からやさしく整えてくれる一杯。さらに、ティーバッグになった韓方茶も優秀。美容やストレスケアにも良いとされ、日常に取り入れやすい韓方として親しまれています。最近話題なのはざくろの成分を濃縮した“ざくろジュース”。植物性エストロゲンが含まれ、美容やストレスケアのサポートアイテムとしても人気です。



ソウル薬令市場で買えるもの



高麗人参とざくろのスティックジュース(チョンウォンサム)

SHOP DATA

ソウル薬令市場

韓国最大の韓方薬市場で、約800の韓方薬関連店舗が集まる。朝鮮時代からの歴史を持ち、現在も多くの人々が訪れてる。●ソウル特別市 東大門区 薬令中央路 10 9:00～18:00 無休 仁川空港から空港バスで1時間30分、金浦空港から地下鉄で1時間10分程度



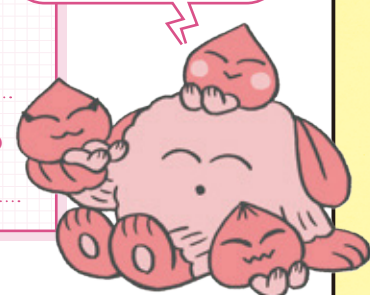
こんなにたくさんは持って帰れないね

MOMOメモ 03

Q. 美しいって、どんな状態のことだと思う？

Q. 日常に美のスパイスを入れるなら、何にチャレンジしたい？

あなたの美しさはもうあなたの中にあるしね





A. 韓国のアートシーンをチェック！

スキンケアやボディケアだけでなく、美しさの芯にある“感性”を育てたい。そんなふうに思ったら、韓国のアートシーンをのぞいてみるのはいかが？今ソウルでは歴史と現代が共存するアート空間が増えていて。たとえば、付岩洞の閑静な住宅街にひっそり佇む石坡亭ソウル美術館。韓屋と現代建築が融合した空間で、時間の流れが静かにほどこていくような展示が楽しめます。一方、アラリオギャラリーソウルは、世界的アーティストの作品と韓国の現代美術が交差する最前線。白を基調としたミニマルな空間は、余白までも美しく、歩くだけで感性が澄んでいくよう。日常を離れて、ただ「感じる」ことに集中する時間が思考をリセットしてくれます。

SHOP DATA

アラリオギャラリーソウル

아라리오갤러리서울

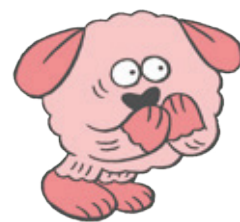
伝統的な韓屋を改装した建物で、国内外の現代アーティストを紹介している。
●ソウル特別市鍾路区栗谷路85 11:00～18:00 日休 IG@arariogallery_official 仁川空港から空港バスで1時間、金浦空港から路線バスで1時間5分程度

SHOP DATA

石坡亭ソウル美術館

석파정 서울미술관

建築にも注目。●ソウル特別市鍾路区彰義門路11ギル4-1 本館：10:00～18:00（最終受付17:00）新館・石坡亭：10:00～18:00（最終受付17:00）入場料：一般 ₩20,000 月火休 IG@seoulmuseum 仁川空港から車で50分、金浦空港から車で35分程度



Q.

心から美しくなるために、感性を磨きたい。



感性って
おいしいの？



A. 最新の夜遊びスポットでホットな夜を過ごす。

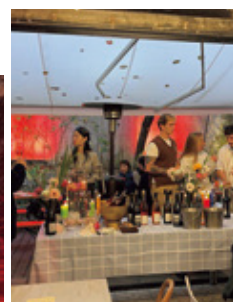
韓国のナイトアウトシーンは、“夜の感性磨き”にぴったり。最近のソウルでは、夜遅くまで営業するブックカフェ、ギャラリー併設のバー、ナチュラルワインとDJを楽しめる新感覚バルなど、五感をゆさぶる夜の選択肢が増えています。たとえば、ソウル・龍山や延南洞エリアでは、静かな住宅街の中に、音とアートと食が交差する空間がぼつぼつと灯りはじめています。漢南洞エリアのフレンチダイニング&ラウンジバー〈Bar La Fine Bouche〉は、広いテラスを備えながら、フランス語で「美食家」を意味する店名に負けない料理とドリンクが楽しめます。特に「Dimming the Light」シリーズなどのイベント開催時には国内外のお客さんで大賑わい。昼の韓国で自分を整えたら、夜は新しい自分をちょっと遊びながら探してみたい？ ホットな夜の空気に包まれて、感性に少しだけスパイスを。

SHOP DATA

Bar La Fine Bouche

바 라핀부쉬

イベント情報などはインスタグラムをチェック。●ソウル特別市龍山区雲記壇路14ギル4 18:00～25:00（金～27:00）、土15:00～27:00 無休 IG@barlafinebouche.seoul 仁川空港から地下鉄で1時間30分、金浦空港から地下鉄で50分程度



カクテルも
おしゃれ！



ティータイムは
大事だよ



SHOP DATA

REZERO SEOUL

리제로 서울

観光やビジネスの中心地に、広々とした空間が広がる。●ソウル特別市鍾路区慶熙宮3ギル3-5 3F 11:00～22:30 無休 IG@rezero_seoul 仁川空港から空港バスで1時間、金浦空港から路線バスで1時間程度

Q.

美しい思い出を、
美しく振り返りたい。



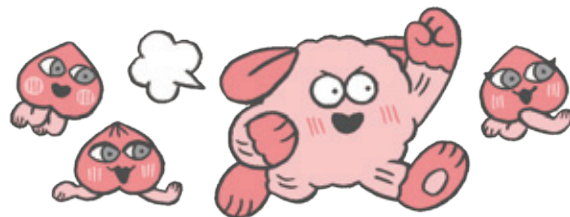
A.

ソウルの街中を一望できる、
美術館のようなカフェへ。

ソウルやプサンなどの都市部では、数十メートルおきにカフェがあるのが当たり前。吹き抜けの大空間、ギャラリーのようなインテリア、都市を一望できる絶景など、美術館級のスケールと感性を備えたカフェも登場し、“場所そのもの”を味わう楽しみが広がっています。そんな中で出会ったのが、ソウルの〈REZERO SEOUL〉。街を見下ろす丘の上にあり、大きな窓から広がる景色はまるで一枚の風景画。美術館さながらの静謐なインテリア、窓いっぱいに広がるパノラマの街並み。余白のある空間に身を置いてコーヒーを飲めば気持ちがずっと落ち着くはず。忙しい日常にカフェタイムを取れない人ほど、旅先ではカフェで思い出を振り返ってみては？「REZERO＝ゼロからもう一度」の意味を持つこのカフェは、そんな自分自身と向き合うのにぴったりな場所です。

Q.

日本でも、スパイシーな
刺激を受けたい！



A.

EXPO2025 韓国館へ
行ってみよう！

旅から戻っても、まだスパイスが足りない気がする。そんな人はぜひ大阪・関西万博の〈韓国館〉へ。テーマは「With Hearts (真心)」。

K-POP、韓国映画、グルメ、テック……韓国が育んできた文化と感性が、“これからのつながり”という視点で表現されます。会場の外壁には、高さ10メートル×幅27メートルの巨大スクリーンが設置され、音楽と映像がシンクロする没入型の演出が。さらに、AIが来場者の声をリアルタイムで合唱曲に変換する参加型展示や、韓国料理を味わえる本格レストランも併設。“観る・聴く・感じる・食べる”が全部揃う、五感で楽しむパビリオンです。EXPOで出会う韓国は、旅ともまた違う刺激をくれるはず。

SHOP DATA

EXPO2025 大阪・関西万博／韓国館

EXPO2025 오사카 간사미 엑스포 한국 파빌리온

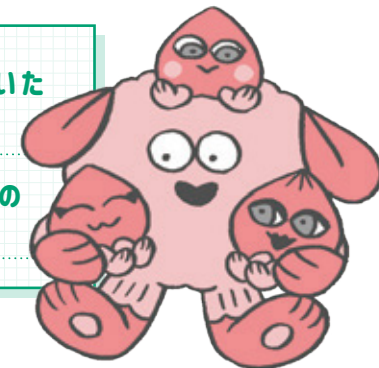
「With Hearts (真心)」をテーマに、K-POPや韓国映画、韓国料理、AI参加型展示など、文化と未来技術を体験。日韓国交正常化60周年の節目に、五感で楽しむ韓国のスパイスを。●会場：大阪市此花区夢洲中1丁目 海外パビリオンC04-01 EXPOチケットで入場可 詳しくは公式ウェブへ

MOMOメモ◎4

Q. 最近、心がピクッと動いたのはどんなとき？

Q. 旅先でどんなふうに夜の時間を過ごしたい？

友達といのちも
刺激的だね



Love&Peach Peachの舞台裏

COLUMN

| VOL.03 |

より心地よい機内をめざして

すべての人に、よりよい旅の提供をめざすPeachの舞台裏に迫るこの企画。今回は、お客さまに機内で快適に過ごしていただくための施策がどんな風につくられ、改善されていくのか。Peachならではの工夫をご紹介します！

シートベルトの緩みや
ねじれの確認は念入り！

機内のことならおまかせ

距離の近さを活かした
お客さまに寄り添う客室サービス

Peachの機内はコンパクトだからこそ、実は客室乗務員がお客さまの小さなサインに気づきやすいメリットもあります。お客さまとの心の距離もできるだけ近くに置いて、ご要望にはできるだけプラスアルファでお応えしたいと考えています。機内での距離の近さを活かした、お客さま一人ひとりに寄り添った接客こそPeachの客室乗務員が目指す姿です。

常に安全が最優先

はじめてのお客さまにも
安心してご搭乗いただくために
細かなところまで確認を徹底

お客さまより「シートベルトの確認が他社より念入りと感じる」とのお声をいただくことがあります。これも、すべてのお客さまに安心してご搭乗いただくためと考えています。客室乗務員は、シートベルトだけでなく、ドア、手荷物、カートなど細かな部分まで徹底した安全確認を行っています。



お子さまにも 楽しい機内時間を

機内の時間を楽しく過ごして
いただけるようお子さま向けの
おもちゃを工夫しています

ご家族連れのお客さまにも多くご利用いただくPeachでは、機内でお子さまが楽しく過ごせる工夫も欠かせません。運航状況によっては実施できない場合もありますが、昨年、小学生以下のお子さまに飛行機を組み立てるクラフトのおもちゃなどをお配りしています。機内のお客さまの反響やお声をキャッチしつつ、対象のお子さまにできるだけお渡しできるように、コンパクトな機内のカートに多く積めるようなサイズ・内容のおもちゃを企画しご提供しています。また、絵本の貸し出しも行っていますので、ご希望のお客さまは客室乗務員にお気軽にお声がけください。

ひじ掛け、シートベルトの
金具などに指を挟まないように
気をつけようね！



愛あるフライトを、すべての人に

「思い出」になるフライトづくりを

単なる「移動」ではなく、お客さまの記憶に残る「思い出」に寄り添いたい。「愛あるフライト」をお届けできるよう、よりよい機内づくりを目指して取り組んでいます。

『飛行機が揺れるタイミングで事前に案内があったので子どもをトイレにスムーズに連れて行けました。アナウンスも落ち着いたトーンでとても安心しました。』

『コーヒーを買いたかったけど、販売終了で買えませんでした。機内販売終了のタイミングがもっとわかりやすいと嬉しいです！』

『イノダコーヒも、泉州たまねぎスープも、どちらも本当に美味しいです。よほど厳選されているのでしょう。』

集めた声から 改善策につなげる

お客さまのお声を
Peachの進化に
つなげたい！

搭乗後にご回答いただくアンケートやSNSを通じて寄せられるご意見など、毎月いただくたくさんのお客さまのお声は、丁寧に読み込んで分析。その分析結果はPeach社内の各部署へ共有され、サービスのさまざまな改善策へとつながっています。現場の声を拾い、現場の改善に活かす。このフィードバックのサイクルを大切にしています。

たくさんのお声を
お待ちしております！



アンケートで お客さまの声を集める

機内体験の向上に欠かせない
ヒントが詰まった
大切なお客さまの“声”

ここだけの話！ まちの自慢を、 聞かせてください

雄大な景色を楽しみながら
サウナで整うホットな旅路へ。

「北見、帯広、釧路など多くの街を跨ぐ道東。世界自然遺産知床や3つの国立公園があり、広大な自然が最大の魅力。そんな環境を堪能できるサウナは格別です。『北こぶし知床ホテル&リゾート』には、オホーツク海の水平線までを覆う流氷を望めるサウナが。2024年にリニューアルした『TOKO NOU TERRACE』では知床連山や満天の星を眺めながら外気浴ができます。阿寒摩周国立公園内の屈斜路湖の畔に佇むプライベートサウナ『屈斜路湖温泉 屈斜路湖サウナ倶楽部』では、静かな森の中で高さ170cmの木桶の水風呂に入れます。夏はカヌーなどのレクリエーションも楽しめますよ。蒸気機関車の走る釧路湿原国立公園を一望できる『THE GEEK』はなかなか個性的。サウナ室への扉には鉄道のブレーキハンドルを使うなど、SLの機関室を模した造りもユニークです。最後は釧路市内にある街の銭湯『大喜湯昭和店』。源泉100%の天然温泉に大人500円で入れる場所はなかなかないのでは？7月～9月は釧路と女満別でPeachの季節運航便もありますので、ぜひ道東で最高の整い旅を！」

CITY
No.03

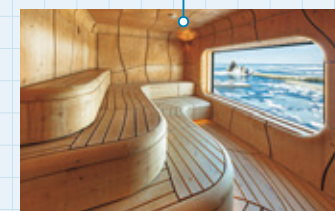
ひがし北海道編



口コミサイトがたくさんあるけれど、やっぱりまことは地元の人に聞くのが一番。今回は、北海道の中でも大自然が広がる道東エリア。ドット道東代表の中西さん、ここだけの話を聞かせてください！

一般社団法人ドット道東代表理事
中西拓郎さん

北こぶし知床
ホテル&リゾート



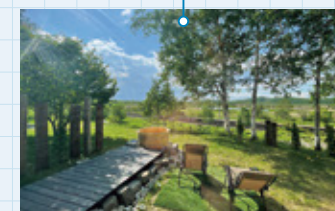
北海道斜里郡斜里町ウトロ東172番地
☎ 0152-24-2021

屈斜路湖温泉
屈斜路湖サウナ倶楽部



北海道川上郡弟子屈町美留和1-33
☎ 050-3171-8597

THE GEEK



北海道川上郡標茶町塘路原野北7線49-43
☎ 015-487-2100

大喜湯昭和店



北海道釧路市昭和中央5-11-8
☎ 0154-55-5558

旅先で見たものや会える人、口にしたものは、人にインスピレーションを与えてくれます。何かが生まれるきっかけになった旅について、語ってもらいました。

旅からすべてがはじまった

お豆腐の白さ

旅先では時間があれば必ずその土地に根付いたスーパーに寄る。仕事終わりの人々がくたくたの顔で今夜食べるお惣菜を選んでいるようなスーパーが好ましい。あたかもそこに暮らしているような顔でかごを取り、それを腕に引っ掛けて歩く。たとえば大阪のスーパーは、わたしが住む東北よりもずっと柑橘が安く、たこ焼き粉の売り場が広い。福岡のスーパーはとにかく出汁のコーナーが広くて、お醤油も驚くほど種類があり、日本酒より焼酎のほうがずっと多い。スーパーの品ぞろえはその土地に暮らす人々の暮らしの需要に応えるために育つから、地層を眺めるように棚を見る。必ず寄るのはお豆腐売り場。お豆腐は見知っているけれど、それが知らないメーカー、知らない

パッケージであることに（ああ、わたしいま旅先にいる）としみじみ実感する。各地にお豆腐を作る人がいて、それを買う人がいるという事実がここから明るくなる。きっぱりとした白さが切り分けられて水に浸り、それぞれの家庭を照らす。知らないお豆腐を眺めて、もしかしたら自分の人生だったかもしれない暮らしに思いを寄せる。「わたし」を少しずつスライドさせながら書くうちに、それが全くの他者になるから小説は面白い。全員が別の世界の自分かもしれない。それでいて、自分のことなのに他人のような気もする日もある。小説は「うそ」を書くことができるからこそ、「ほんとう」と向き合わなければいけない日々になり、わたしはこれまで以上に旅を欲している。

PROFILE
くどうれいんさん 編



作家。1994年生まれ。著書にエッセイ集『湯気を食べる』など。初の中編小説『氷柱の声』で第165回芥川賞候補に。小説作品集『スノードームの捨てかた』（講談社）が2025年5月29日発売。現在講談社「群像」にてエッセイ「日々は目分量」ほか連載多数。

Spice Up Your Life and Step Into a Beautiful Future —with a Trip to Korea

FOOD
BEAUTY & HEALTH
CULTURE

"Lately, I've been feeling stuck." "I want to shake things up, just a little." When you find yourself feeling that way, maybe what you need is a little spice—the kind that's bold yet gentle, invigorating yet soothing. From chili peppers and garlic to herbal medicine, art, and nightlife, here's how a trip to Korea can help you break out of your routine and step into something new.

Q. Have you felt a little more spice in your life lately?

01 Travel: The Ultimate Life Spice

They say "Travel is the spice of life," and it turns out, it's more than just a saying. Recent research suggests that positive travel experiences can help maintain a low-entropy state (i.e., bodily health) by supporting both mental and physical well-being. Activities like gentle movement, immersion in nature, meaningful conversations, and emotional refreshment—often part of travel—can all activate our innate healing abilities, boosting immunity, relieving stress, and nurturing resilience. Travel isn't just an escape—it's a kind of therapy. In fact, travel is increasingly being viewed as a form of "travel therapy," a holistic approach that supports physical, mental, and social health. [1] As the English saying goes, "Variety is the spice of life," captures this perfectly. New scenery, unfamiliar flavors, fresh air—these small shifts in rhythm have a subtle but powerful impact. Travel is a gentle catalyst that helps reset your pace and awaken your future. Travel stirs the senses, wakes us up, and brightens even the dulllest days.

[1] Hu, F., Wen, J., Zheng, D., Ying, T., Hou, H., & Wang, W. (2024). The Principle of Entropy Increase: A Novel View of How Tourism Influences Human Health. Journal of Travel Research, 64(3), 752-761. <https://doi.org/10.1177/00472875241269892>



02

Korea: A Country of Living Spices That Engage All Five Senses

To discover the "spice of travel," the MOMOMAG editorial team headed to Korea—a country where food, culture, and creativity pulse with energy. Chili peppers, introduced to Korea from Japan in the late 16th century, were incorporated into kimchi by the 18th century and transformed Korean cuisine. But Korea's spice culture runs deeper than that. Ingredients like garlic and ginger have long been seen as everyday medicine, warming the body and balancing the flow of qi and blood—principles rooted in traditional Korean medicine. Korea's vibrant culture is just as rich. Art, music, architecture, night markets—everything is alive and evolving. With a deep respect for tradition and a drive to innovate, Korea is a place where food, design, and ideas are constantly refreshed. A visit here isn't just stimulating—it resonates deep within, like spices that quietly awaken your senses from the inside out.



So much spice, I love it!



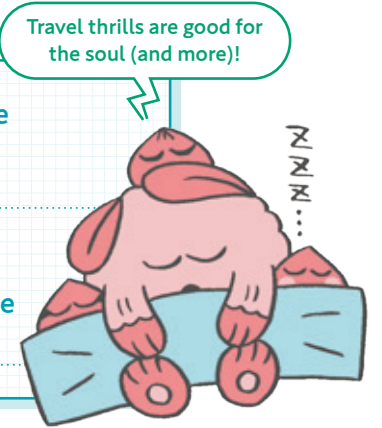
03

A Journey That Nourishes, Inspires, and Brings Out Your Inner Glow

A trip to Korea offers more than just wellness—it offers balance, beauty, and renewal. Fermented foods like kimchi and gochujang are rich in probiotics and B vitamins, supporting gut health and glowing skin—earning them the nickname "edible skincare." Traditional herbal teas like omija-cha (Schisandra berry tea) and ginger tea draw from centuries of Korean wisdom to warm the body and ease tension. Another growing trend is Korea's unique approach to health tourism—combining culinary experiences with visits to Korean medicine clinics for personalized treatments and wellness support. This is the ideal style for those who want to balance health and beauty. Add to that Seoul's cutting-edge art galleries, cozy book cafés open late into the night, and a thriving scene of contemporary creators, and you have a destination where beauty, creativity, and wellness come together seamlessly. A journey that strengthens your body and stirs your spirit might just be the spark that helps you become your most radiant, free self.

MOMO memo 01

- Q. What does the "spice of life" mean to you?
- Q. What does a beautiful future look like in your eyes?



Travel thrills are good for the soul (and more)!

ZZZ...



Beauty starts from within.



Love&Peach Peachの舞台裏 Behind the Scenes at Peach

Leave the Cabin Experience to Us

Our compact cabin layout allows us to provide attentive, personalized service to every passenger.

One of the advantages of Peach's cozy cabin layout is that our flight attendants are always close by, allowing them to easily pick up on passengers' needs—sometimes even before they're voiced. We aim to stay attentive and approachable, offering responsive, personalized service to every traveler on board.



Turning Customer Feedback into Real Improvements

We listen closely to your feedback to help Peach grow and improve.

Each month, we receive a wide range of customer feedback—through post-flight surveys, social media comments, and more. We take every word seriously. After carefully reviewing and analyzing this feedback, we share insights across all departments to help guide meaningful service improvements. This ongoing cycle of listening, learning, and improving is one we hold dear.

We'd love to hear your feedback!



Your Feedback Helps Us Fly Better

Feedback from our passengers inspires real improvements in our service.



A flight full of respect for everyone.

We strive to create journeys that leave lasting memories.

At Peach, we want our flights to be more than just transportation—we want to be part of your memories. That's why we continue working to create cabin experiences filled with warmth and care. Our goal is to deliver a flight full of respect that feels truly memorable.

"I was told in advance when turbulence would begin, so I could take my child to the restroom in time. The calm tone of the announcement was very reassuring."

"I wanted to buy coffee, but the in-flight sales had already ended. I wish there were a clearer announcement about when sales would finish."

Creating a More Comfortable Cabin Experience

In this column, you're invited to take a behind-the-scenes look at Peach, the airline aiming to provide a better travel experience for all. In this edition, we're giving you a closer look at some of our unique efforts to create a more comfortable and enjoyable in-flight experience for our passengers.

Please make sure your seat belt is snug and not twisted!

Safety Is Always Our Top Priority

We take every precaution to ensure even first-time flyers feel completely at ease.



Some passengers have commented that our seat belt checks feel more thorough than those on other airlines—and we take that as a compliment! Our flight attendants carefully check everything from seat belts and overhead compartments to service carts and cabin doors, all in the name of keeping everyone safe.

Making In-Flight Time Fun for Kids

We offer craft toys and picture books to make flying more fun for kids.

With many families choosing to fly with Peach, we've come up with ways to keep younger travelers entertained. Depending on flight conditions, we offer craft kits—like DIY paper airplane models—to children in elementary school or younger. These toys are specially designed to fit in our compact in-flight carts, allowing us to hand them out whenever possible. We also have picture books available to borrow—just ask a flight attendant!

Watch your fingers around the armrests and seat belt buckles!



Just Between Us! まちの自慢を、 聞かせてください Share What Makes Your Town Special

CITY
No.03

East Hokkaido



Representative
Director of the .DOTO
Mr. Takuro Nakanishi

With so many review sites out there, sometimes the best way to discover a place is to ask the locals. This time, we're heading to the Eastern Hokkaido region—home to breathtaking natural landscapes. We sat down with Mr. Takuro Nakanishi, Representative Director of the .DOTO, to hear his personal recommendations for an unforgettable experience.

A Relaxing Sauna Journey Surrounded by Stunning Scenery

"Eastern Hokkaido stretches across cities like Kitami, Obihiro, and Kushiro. It's home to Shiretoko, a UNESCO World Natural Heritage site, as well as three national parks, offering some of the most spectacular natural beauty in Japan. There's something incredibly special about enjoying a sauna in this kind of setting. At Kitakobushi Shiretoko Hotel & Resort, you can unwind in the sauna while taking in views of the drift ice that covers the Sea of Okhotsk to the horizon. The facility also features TOKONOU TERRACE, newly renovated in 2024, where you can step outside to enjoy the fresh air and a breathtaking view of the Shiretoko mountain range under a sky full of stars. At Kussharo-ko Sauna Club, a private sauna nestled in the quiet forests of Akan-Mashu National Park, you can unwind and cool off between sauna sessions in a 170cm-deep wooden tub filled with cold water, surrounded by peaceful nature. In summer, you can even enjoy lake activities like canoeing. For something truly unique, check out THE GEEK, which offers panoramic views of Kushiroshitsugen National Park along with passing steam locomotives. The sauna itself is modeled after a steam locomotive engine room, complete with train brake handles as door levers—it's one of a kind. Lastly, there's the beloved Taikiyu Showaten, a local public bathhouse in Kushiro City. It's rare to find a 100% natural hot spring experience for just 500 yen. Peach offers seasonal flights to both Kushiro and Memanbetsu between July and September, so don't miss the chance to unwind and discover the serene charm of Eastern Hokkaido. It's the perfect destination for a soul-soothing escape."

Kitakobushi Shiretoko Hotel & Resort



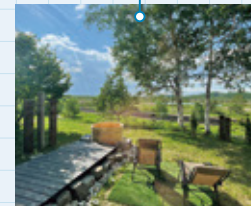
172, Utoro Higashi, Shari-cho, Shari-gun, Hokkaido ☎ 0152-24-2021

Kussharo-ko Sauna Club



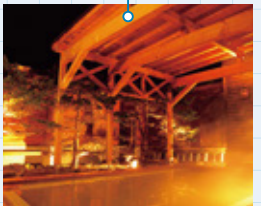
1-33, Biruwa, Teshikaga-cho, Kawakami-gun, Hokkaido ☎ 050-3171-8597

THE GEEK



49-43, Kita 7 Sen, Torogonya, Shibecha-cho, Kawakami-gun, Hokkaido ☎ 015-487-2100

Taikiyu Showaten



5-11-8, Showachuo, Kushiro-shi, Hokkaido ☎ 0154-55-5558

The sights, people, and flavors you experience on your travels can spark ideas and inspire new creations. We asked Ms. Rain Kudo about the journey that inspired her latest work.

It All Started with a Trip 旅からすべてがはじまった

The Whiteness of Tofu

Whenever I travel, I always make a point of stopping by a local supermarket. I like the kind of place where tired people wander the aisles after work, deciding what to eat for dinner. I grab a basket, sling it over my arm, and stroll through the store like I live in the neighborhood. In Osaka, the citrus fruits are cheaper, and there's a whole section dedicated to takoyaki flour—something I don't often see back home in Tohoku. In Fukuoka, there's an impressive selection of dashi stock, an astonishing variety of soy sauces, and far more shochu than sake. The layout of a supermarket reflects the everyday life of its community. I browse the shelves as if I were studying layers of the earth—each product offering a small clue about how people live there. I always stop at the tofu section. I know tofu, of course—but

here it comes in unfamiliar packaging, made by a brand I've never heard of. And in that moment, it hits me: I'm traveling. My heart lifts at the quiet truth that tofu is being made, bought, and eaten all across Japan. That firm white square, sliced and soaking in water, quietly lights up kitchens and dining tables in countless homes. Looking at unfamiliar tofu, I catch a glimpse of a life I might have lived. Writing fiction is a little like that. As I write, a version of "me" slowly slips into the story—until it becomes someone entirely different. Anyone could be me, in another world. And yet, some days, even my own story feels like it belongs to someone else. Fiction allows us to tell lies, which is why it demands that we confront the truth every day. And that, I think, is why I want to travel more than ever.

PROFILE Ms. Rain Kudo



Rain Kudo is a writer born in 1994. Her works include the essay collection Yuge wo Taberu. Her first novella, Tsurara no Koe, was nominated for the 165th Akutagawa Prize. Her collection of short stories, Snow Dome no Sutekata (Kodansha), will be released on May 29, 2025. She is currently serializing multiple essays, including Hibi Kore Meburyo in Gunzo, published by Kodansha.

MOMO MAG

MOMO MAG

路線図

Peachは現在、国内線25路線、国際線15路線に就航しています。今後も、日本各地そしてアジアを結ぶエアラインとしてもっと気軽に旅行を楽しんでいただけるよう路線をさらに拡大していきます。

2025.6.1現在の路線図

※情報は予告なく変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
※大阪(関西)ー女満別線、大阪(関西)ー釧路線は7月～9月の期間運航です。



STAFF

2025年6月発行	Editors	Illustrator	Producers
発行人 大橋一成	Rio Hirai (FIUME, Inc.) Daisuke Akai	Emi Ozaki	Yoshihiko Todaka (MAGAZINE HOUSE CO. LTD) Saya Fukumoto (MAGAZINE HOUSE CO. LTD)
発行 Peach Aviation 株式会社	Art Director Hikari Taguchi	Translators Orange Corporation	Planning & production MAGAZINE HOUSE CREATIVE STUDIO
		Printer Chiyoda Print Media Corporation	

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます ※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです ※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです
Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.

MOMO MAG